

訪問看護ステーションone・room

○医療保険料金表

		1割負担	2割負担	3割負担
訪問看護基本療養費（Ⅰ） （1回の料金）	週3日目まで	555円	1110円	1665円
	週4日目以降	655円	1310円	1965円
訪問看護管理療養費 （1日につき）	月の初日	740円	1480円	2220円
	2日目以降	298円	596円	894円

複数名にて訪問した場合		1割負担	2割負担	3割負担
複数名訪問看護加算	看護師（週1回）	430円	860円	1290円
	准看護師（週1回）	380円	760円	1140円
	看護補助者（週3回）	300円	600円	900円

時間外の利用の場合		1割負担	2割負担	3割負担
早朝・夜間加算（6時～8時・18時～22時）		210円	420円	630円
深夜加算（22時～6時）		420円	840円	1260円

難病等により1日に複数回訪問した場合		1割負担	2割負担	3割負担
難病等複数回訪問加算	1日2回訪問	450円	900円	1350円
	1日3回以上訪問	800円	1600円	2400円

※表1～3の状態にある方や特別訪問看護指示書が交付された利用者に対し、日に2回以上訪問した場合。

○キャンセル料

訪問1時間前までに中止のご連絡が無かった場合、キャンセル料をいただきます。（料金の50%の額）

○交通費

1kmにつき20円いただきます。

○その他

①衛生材料：利用者のご負担となります。

②利用者の居宅でサービスを提供するために使用する、水道、ガス、電気などの費用は利用者のご負担となります。

○病状や希望の契約により下記の料金が加算されます。

	1割負担	2割負担	3割負担
24時間対応体制加算 （1月につき）	540円	1080円	1620円
情報提供療養費 （1月につき）	150円	300円	450円
特別管理加算1 （1月につき） 表2の状態にある方	500円	1000円	1500円
特別管理加算2 （1月につき） 表3の状態にある方	250円	500円	750円
退院時共同始動加算 （1月につき） 入院の職員と共に療養上必要な指導を文章で提供した場合 （利用者の状態に応じ月2回を限度）	800円	1600円	2400円
退院支援指導加算 退院日に在宅で療養上必要な指導を行った場合 表1～3の状態にある方	600円	1200円	1800円
特別管理指導加算 （退院時共同指導加算に上乗せ）1回に限る 表2・表3の状態にある方	200円	400円	600円
緊急時カンファレンス加算 （月2回まで） 在宅での療養中に、状態の急変や診療方針の変更がある場合	200円	400円	600円
長時間訪問看護 （1回の訪問時間が90分を越えた場合） 基本は週1回に限り算定するが、表2・表3及び15歳未満の超重症児、準超重症児のかたは週3回まで算定	520円	1040円	1560円

表1

・末期の悪性腫瘍	・多発性硬化症	・重症筋無力症
・スモン	・筋萎縮性側索硬化症	・脊髄小脳変性症
・ハンチントン病	・進行性筋ジストロフィー症	
・パーキンソン病関連疾患		
（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病（ホーエン・ヤールの重症度分類 がステージ3以上であって、生活機能障害度がⅡ度またはⅢ度のものに限る））		
・多系統萎縮症		
（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）		
・プリオン病	・亜急性硬化性全脳炎	・ライソゾーム病
・副腎白質ジストロフィー	・脊髄性筋萎縮症	
・球脊髄性筋萎縮症	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	
・後天性免疫不全症候群	・頸髄損傷	
・人工呼吸器を使用している状態及び急性増悪期の場合		

表2

1) 悪性腫瘍患者・気管切開患者で医師より指導管理を受けている状態にある方。
2) 気管カニューレ・留置カテーテル等を使用している状態にある方。

表3

1) 自己腹膜灌流・血液透析・酸素療法・中心静脈栄養法・成分栄養経管栄養法・自己導尿・人工呼吸 持続陽圧呼吸療法・自己疼痛・肺高血圧症患者 上記で医師より指導管理を受けている状態にある方。
2) 在宅酸素・人工肛門・重度の褥瘡等の状態にある方。
3) 重度の褥瘡（真皮を越える褥瘡）の状態にある方。
4) 在宅患者訪問点滴注射管理指導料を算定している方。

○キャンセル料

訪問1時間前までに中止のご連絡が無かった場合、キャンセル料をいただきます。（料金の50%の額）

○交通費

1kmにつき20円いただきます。

○その他

①衛生材料：利用者のご負担となります。

②利用者の居宅でサービスを提供するために使用する、水道、ガス、電気などの費用は利用者のご負担となります。